

## 岩手県立遠野緑峰高等学校

### 草花研究班

ホップ和紙開発プロジェクト ～ホップ蔓の新たな可能性にかける～

遠野市は、全国屈指の生産量・生産面積を誇っているホップの一大産地。農家に新たな産業を！廃棄されるホップの蔓から繊維を抽出し、環境に優しい化学薬品ゼロなホップ和紙の工程や技術を向上させる研究を継続している。



## 秋田県立金足農業高等学校

### 科学部

私たちは高校生の養蜂家 ～ニホンミツバチで秋田の環境を守る～

高校でニホンミツバチの自然巣を発見。5年の月日を経て1群のミツバチを巣箱で飼うことができた。養蜂を行い研究することで、ニホンミツバチの生活を守るだけでなく、環境に配慮した行動や自然環境保全について考えている。



## 秋田県立大曲農業高等学校

### 生物工学部

クニマス 里帰りに向けた田沢湖の水環境の回復法

以前より田沢湖が酸性化し、クニマスを含む生息していた生物は姿を消した。私たちは、クニマスを田沢湖に戻すために湖を中性にする研究を行った。今後も田沢湖全体の生態系を回復させ、クニマスや他の魚たちが棲める田沢湖にするための環境改善法を研究する。



## 秋田県立横手清陵学院高等学校

### 総合技術科環境工学類

工業系の学科を持つ中高一貫教育校。建築・土木に関する専門的な知識と技術及び、環境保全や環境開発に関する技術者として必要な能力と態度を身に付けることを目標にしている。「環境活動の取組み」は、様々な設計コンペや提案コンペに参加し、環境について考えている。

## 宮城県気仙沼高等学校

### 自然科学部

十八鳴浜の季節による変化の観察

鳴砂は踏むと「キュッキュ」と鳴る砂で、環境汚染のバロメーターとも言われている。東日本大震災以降、当たり前にあったものが一瞬で無くなる恐ろしさとともに、後世にデータを伝える大切さを感じ研究を続けている。



## 宮城県志津川高等学校

### 自然科学部

八幡川河口に復活した干潟の生物調査

干潟には、貝類やゴカイ類、エビカニ類など様々な生物が育ち、水鳥が飛来する環境を作る力がある。東日本大震災後、干潟に戻った八幡川河口域にどのような生物が棲息しているのか、採集と観察、調査をしている。



## 宮城県志津川高等学校

### 自然科学部

南三陸GURUGURU計画 ～循環の町を目指して～

僕たちは南三陸の環境を守る、通称「バイオマステンジャー」。町の人たちにもっと生ゴミの回収に協力してもらえるよう、ワークショップや宣伝活動などを頑張っています。また、バイオガスを生成する実験も行っています。



## 宮城県利府高等学校

### 自然科学部・利府環境放射線観測班『ROGER』

環境放射線・紫外線観測を通じての大気の状態の経時観測と地域との連携および告知の活動

環境に関する調査の取り組みとして(1)町内の水質の経年観測 (2)近隣中学校との連携を含めた紫外線γ線の毎日の観測を行っている。γ線量観測は、地域に協力をしていただきながら自分たちの手で継続して観測してみたいと思っている。

## 宮城県多賀城高等学校

### 科学部

多賀城高校の松枯れの原因を探る

「多賀城高校の松枯れの原因を探る」をテーマに、アカマツ林の健康調査を行い、松枯れ被害の状況をレポートにまとめ、さらには枯死する原因を究明することで、学校の景観保護に貢献したいと考え活動を続けている。



## 仙台高等専門学校

### 仙台高専Aチーム

外来種が救世主!? ～アレロパシーの可能性～

セイタカアワダチソウは、絶滅危惧種を含む在来植物の植生に影響を及ぼすが、この植物のアレロパシー物質(cis-DME)を抽出しその特性を評価。さらにカイワレダイコンの発芽に与える影響を調査し自然由来の農業としての活用可能性を検討している。



## 仙台高等専門学校

### 仙台高専Bチーム

石で水を浄化しよう ～岩石から光触媒を求めて～

近年環境・エネルギー問題で注目されている「光触媒」に着目。天然の岩石や鉱石に含まれる金属酸化物の光触媒特性が明らかになれば、天然に大量に存在する岩石から環境浄化、エネルギー製造が可能になると考え調査をしている。



## 仙台市立仙台工業高等学校

### 模型部

ペットボトルキャップを使った分別を呼びかける活動

コマ撮りアニメの制作に使えるような廃材(ペットボトルキャップ等)を集め始めた。その際、ラベルとキャップが分別されずに捨てられているのを見て、分別を呼びかける活動を始めた。アニメ「カラフル～キャップの中の物語」を仙台短篇映画祭で上映し評判となる。

## 仙台城南高等学校

### 【環境社会実験】未来プロジェクトin仙台について

知ることは守ること! みんなで守ろう仙台のトウホクサンショウウオ

本校敷地内で毎年トウホクサンショウウオの卵のうが発見されているが、近い将来絶滅する恐れがある。トウホクサンショウウオを多くの人に知ってもらい、ネットワークを広げ保護活動や生態調査に関する情報交換をしたいという目的で活動している。



## 宮城県仙台第二高等学校

### 生物部

光の条件を変えた場合の硝化作用のモデル実験

水質汚濁問題を解決するため、川の浄化に関する働きとして欠かせない硝化作用について研究している。硝化作用は亜硝酸菌・硝酸菌が行う。この硝化細菌の活動に最適な環境を模索し、水質汚濁問題解決に役立ちたいと考えている。

